

9月議会に期待する

地方政治クリエイター 伊藤 秀昭

■地方議会なんて
いらぬ

想定外の異常気象
で自然災害が猛威を
振るった夏が終わ
り、いよいよ9月。東
三河の各市町村議会
においても一斉に定
例議会が招集され、
一般質問が始まりま
す。

この約3カ月間、
東京都議会のセクハ
ラヤン問題をはじめ、
兵庫県議が公務
活動費の支出にまとも
な説明もせず身立
した会見の模様は連
日報道され、温泉県
議(兵庫)に、危険

ドラッグ県議(神奈
川)……

まずは市区議会
議員にも及びまし
た。青森県平川市で

るほどの不祥事が
続いた夏でした。

あぐくの果ては
「地方議員って何を
やっているかわか

地方創生は地方議会の再生から

は市議20人中15人
が公選法違反で逮
捕され、東京都中野
区議はツイッター
で「お前そ人間の
肩だ。死ぬ」と書き
込み、辞職。身近に
は新城市議会での
不適切発言が全国
的な話題となるな
ど目を覆いたくな
く、地域における行

「こんな地
方議会なんてもう
いらぬ」という声
も。

■草の根民主主義
の危機

地方自治法では
「地方公共団体は、
住民の福祉の増進を
図ることを基本とし

て、地域における行
政を自主的かつ総合
的に実施する役割を
広く担うものとする
」とし地方政治の
目的は「住民福祉の
増進」と定義してい
ます。

その住民の代表
が地方議員であり、
その目的のために
行政を質(た)だし、

安倍政権は看板の
責任

提案する場が「議
会」であり「このま
ちに住んで良かつ
た」と住民の満足度
を高めていく大き
な役割を担ってい
ます。

「アベノミクス」の
「人の流れ」を促し
若者や女性にとつて
魅力のある地域づく
りは決して、「お上
り」によってなされるも
のではないはずで
す。

地方の個性を生
かし、地方の魅力を
前面に出して住み
慣れた地方で働き、

安定した家庭を築
ける地域づくりは
地方政治の目的で
ある住民福祉の向
上そのものはず
です。

この数年、地方議
会は議会基本条例
を制定するなどし
て議会改革に取り
組んできたはずで
す。その上に地方議
員の不祥事が続き、
存在意義さえ問わ
れている現実は何
れを示しているの
でしょうか。

地方創生は地方
議員の責任

安倍政権は看板の
責任

「人の流れ」を促し
若者や女性にとつて
魅力のある地域づく
りは決して、「お上
り」によってなされるも
のではないはずで
す。

地方の個性を生
かし、地方の魅力を
前面に出して住み
慣れた地方で働き、

安定した家庭を築
ける地域づくりは
地方政治の目的で
ある住民福祉の向
上そのものはず
です。

この数年、地方議
会は議会基本条例
を制定するなどし
て議会改革に取り
組んできたはずで
す。その上に地方議
員の不祥事が続き、
存在意義さえ問わ
れている現実は何
れを示しているの
でしょうか。

その大きなイン
パクトになったの
は、5月に発表され
た増田レポートで
す。若年人口が減少
し、自治体の半数
が消滅すると鳴ら
した警鐘は衝撃的
でした。

地方議会の役割
は重要

また、団塊の世代
が後期高齢者に加
わり、地方から大都市
へ若者が流出する



わる2025年を
めどに「地域包括ケ
アシステム」の構築
に全国各地が政策
を総動員し競い始
めています。今後は
都市、地方に関わら
ず人口も税収も減
り、全国一律のサー
ビスが受けられる

時代から、自治体で
差がつく時代にな
っていきます。

予算をどこに使
い、どこを削るの
か。その議決権を持
っているのは地方
議会であり、今後
ますます地方主体
の政策展開の時代
となり、地方議会と
地方議員の役割は
重みを増すばかり
です。

逆を言えば、議員
への視線が厳しい
今こそ、地域社会に
飛び込んで、住民に
寄り添い、住民の声
に耳を傾け、政策に
組み上げていく地
道な議員活動によ
って、議会の質的充
実に向けて議会と
して切磋琢磨すべ
きではないだろう
か。

その意味で9月議
会での真剣な論戦に
期待したい。